



大切な財産を大切な人に円満に引き継いでいくために ～～～ 相続・贈与を考えてみませんか ～～～

遺言

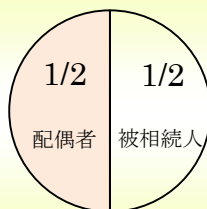
+ ご自身の財産を誰か特定の人に引き継がせたい時は、「遺言」をすることにより、原則、その遺言書に沿って被相続人の財産が特定の人に引き継がれます。

- + よく活用されている遺言書には「自筆証書遺言」、「公正証書遺言」があります。
- + 遺言がない場合、相続人全員で誰がどの財産を相続するか話し合い、決めることになります。これを遺産分割協議といい、「遺産分割協議書」を作成することになります。
- + 民法では、相続人が相続できる最低保障額があり、これを「遺留分」といっています。遺留分を超えた遺言の場合、相続人は遺留分までは相続することができます。

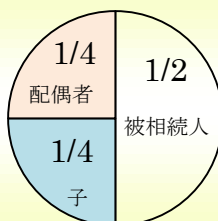
遺留分のある相続人 配偶者、子（代襲者相続人を含む）、父母には最低保障が認められていますが、兄弟姉妹には遺留分はありません。

遺留分の割合

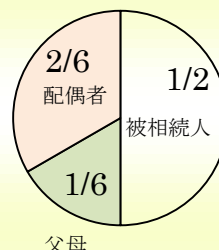
1 配偶者のみ



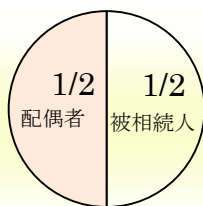
2 配偶者と子



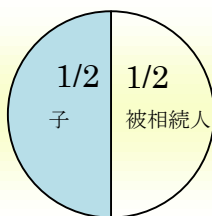
3 配偶者と父母



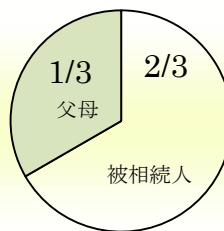
4 配偶者と兄弟



5 子のみ



6 父母のみ



7 兄弟姉妹のみ



※兄弟姉妹はありません。

◇ 被相続人が自分の意思で決められる部分を「被相続人」として表示しています。

※ 個別具体的な税務については、税務署又は税理士等にご相談して下さい。